
悲しい童話

伊東 光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悲しい童話

【Zコード】

Z1336D

【作者名】

伊東光

【あらすじ】

現実に起つて いる悲しい話。 彼女に降りかかる災難は果たして偶然なのか、必然なのか……。

(前書き)

この話に出てくる人物などを違つ者（物）に置き換えてお考えしていただければ嬉しいです。

むかしむかし、小さな村に貧しい女の子が住んでいました。

彼女は村長さんと多くの村人さんからひどいことをされていました。
彼女がはたらいて得たお金は全部、盗られてしまいます。

彼女を馬鹿、間抜け、ブスと言つ人はいても、彼女をほめる人はいません。

なぜなら、みんな安心しているからです。彼女がいれば、自分たちは優越感を味わえるのですから。

彼女は泣きます。心の中で。

存在を否定されて、わたしは生きていって言いのだろうかと、問います。

誰も答えてくれません。

彼女はギラギラ光つている刃物を眺めます。彼女の赤い血が付いても。

彼女はちいさな錠剤を見つめます。心の準備が出来ません。

彼女はおそらのうえの世界を頭の中に描きます。なんて暖かそうなのでしょう。

彼女は明日をリマゼン。コワイからです。カナシイからです。

村長さんは今日もまた、イジメマス。ケナシマス。

助けて。
たすけて。
タスケテ。
タスケテ。

彼女のアタマは真っ白になりました。

村長さんのカラダは真っ赤になりました。

今まで彼女の血を吸つてきたナイフは村長さんの胸の中です。
村長さんの胸にあいた穴からは赤い鮮血が噴水のように飛び出でています。

キレイダナ。彼女はそう思いました。

それを見てしまった村人が急いで神様へ手紙を書きます。

カミサマ、カミサマ、タイヘンデスヨ。

手紙を読んだ神様は、青い衣に身を包んだ天使たちに命じます。

サア、イキナサイ。カノジョノモトヘ。

彼女は天使に連れられ、神様のところへ召されました。

ムカシ、ムカシ、チイサナムラニ、救ワレナカツタ女ノ子ガ、イマ
シタ……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1336d/>

悲しい童話

2011年10月4日14時19分発行